

行政経営報告書

2026（令和8）年8月

伊 賀 市

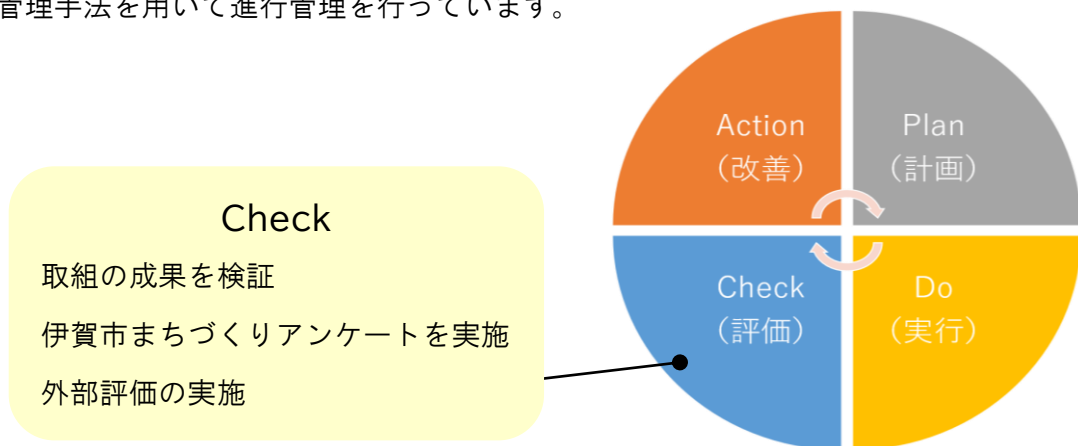
目 次

1. 行政経営報告書の構成	1
2. まちづくりアンケート結果概要	2
3. 施策評価結果	4
施策の一覧	4
施策評価シート	6
巻末資料（2025(令和7)年度成果指標進展度一覧）	84

1. 行政経営報告書の構成

行政経営報告書は、伊賀市自治基本条例第 56 条に基づき実施した行政評価について、総合計画に係る評価結果を公表するものです。

第 3 次伊賀市総合計画に掲げる将来像「すべてのひとが輝く 地域が輝く～みんなで話そう 伊賀市の未来」を実現するために市が位置付けた 34 の施策については、PDCA という管理手法を用いて進行管理を行っています。



PDCA は、Plan（計画を立てる）、Do（実行する）、Check（実行した結果を検証、評価する）、Action（検証の結果を次の改善に繋げる）の頭文字を取ったもので、この PDCA を繰り返す PDCA サイクルにより、継続的な業務改善を行うことで、将来像の実現に向けた施策を進めています。

施策についての行政評価（Check）を、「施策評価」と呼び、評価対象年度に実施した伊賀市まちづくりアンケート結果を用いて市民意識や目標指標の達成度を把握しながら、各施策における基本事業の成果を指標に基づき検証し、翌年度以降の事業改善の方向性を決定することで、施策目標に向けた着実な取組の推進を図ります。

具体的には、2025（令和 7）年度に実施した基本事業の取組について、「施策評価シート」を用いて所管部局が施策評価を実施しました。施策評価シートには、基本事業ごとに効果が出ている点や新たな課題の洗い出し、基本事業の進展度の確認（Check）と改善案（Action）が記載されています。なお、伊賀市では 2016（平成 28）年度から、施策評価の信頼性と客観性を高めるため、伊賀市総合計画審議会による外部評価を導入しており、審議会が示した「外部評価結果報告書」に記載された外部評価結果を、各施策評価シートの下部に追記しています。

今回作成した行政経営報告書は、2025（令和 7）年度まちづくりアンケート結果概要及び 2025（令和 7）年度施策評価シートにより構成されています。

2. まちづくりアンケート結果概要

(1)まちづくりアンケートとは

第3次伊賀市総合計画の各施策に対する市民の皆さんの「現在の満足度」と「今後の重要度」などを把握することで、現在行っている施策の分析を行い、まちづくりの参考とするものです。

(2)調査の仕様

- ①調査地域 伊賀市全域
- ②調査対象 伊賀市住民基本台帳に登録されている満 18 歳以上の方から無作為に抽出した 3,000 人
- ③調査方法 調査票の郵送、Web 回答用フォーム
- ④調査期間 2026（令和8）年 1 月 30 日～2 月 24 日
- ⑤回収票数 1,043 件

(3)施策の「現在の満足度」と「今後の重要度」の算出

施策項目ごとに、以下の算出式により評価得点をつけて評価しました。

①現在の満足度

$$\frac{(\text{「満足」回答数} \times 4 \text{点}) + (\text{「やや満足」回答数} \times 3 \text{点}) + (\text{「やや不満」回答数} \times 2 \text{点}) + (\text{「不満」回答数} \times 1 \text{点})}{\text{全回答数} - (\text{「わからない」回答数} + \text{無回答数})}$$

②今後の重要度

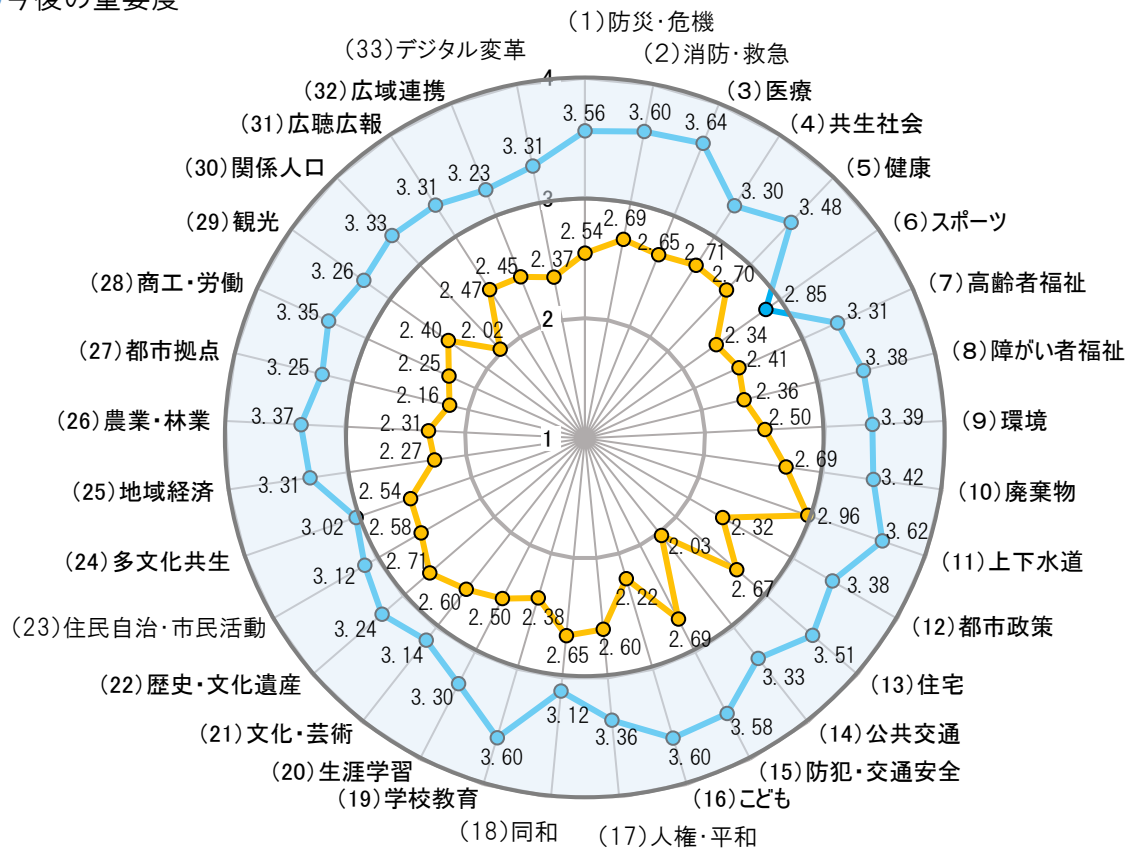
$$\frac{(\text{「重要」回答数} \times 4 \text{点}) + (\text{「やや重要」回答数} \times 3 \text{点}) + (\text{「あまり重要でない」回答数} \times 2 \text{点}) + (\text{「重要でない」回答数} \times 1 \text{点})}{\text{全回答数} - (\text{「わからない」回答数} + \text{無回答数})}$$

(4)結果の概要

各施策の「現在の満足度」と「今後の重要度」の一覧を次のグラフに表しました。

現在の満足度と今後の重要度グラフ

- 現在の満足度
- 今後の重要度



重要度については、施策全体の平均が 3.35 点で、全体的に高い結果となっています。特に、「いのちをまもる」分野の「医療」(3.64 点)「消防・救急」(3.60 点)、「くらしをささえる」分野の「上下水道」(3.62 点)、「ひとをはぐくむ」分野の「こども」(3.60 点)「学校教育」(3.60 点)の重要度が高くなっています。

満足度については、施策全体の平均が 2.48 点で、「くらしをささえる」分野の「上下水道」(2.96 点)が最も高く、次いで「ひとをはぐくむ」分野の「歴史・文化遺産」(2.71 点)、「くらしをささえる」分野の「共生社会」(2.71 点)で高い結果となっています。ただし、いずれの施策も「やや満足」の 3 点を下回っています。

また、得点から除かれた「わからない」という回答数が 300 以上あった施策は、「障がい者福祉」「同和」「広域連携」でした。